

4. 線路敷ボードウォーク広場が完成しました

中心市街地から大友氏遺跡へと続く大分歴史回廊として、賑わいをつなぐ交流の場及び緑と文化が感じられる集いの場となる「線路敷ボードウォーク広場」が10月31日に完成しました。完成に伴い、竣工式典及び記念植樹を行います。

1. 線路敷ボードウォーク広場の概要

大分駅付近連続立体交差事業による鉄道の高架化により残った旧鉄道敷（鉄道残存敷き）は、にぎわい創出や大友氏遺跡や西大分湾岸交流拠点などの連携軸として、有効活用が求められてきました。

大分駅から東側は、「大友氏遺跡へと続く大分歴史回廊」の中核をなすエリアとして、人々の誘導を積極的に図ることを目的に、大友氏遺跡歴史公園の南側に接していることから、「大友氏遺跡へのプロムナードとなる長い広場」として位置付け、一体となってその価値を高め、活用に資するための整備を行いました。

(1) 延長、面積及び施設等

- 延長 440m
- 面積 10,000㎡
- 施設 ・エントランス ・眺望デッキ ・芝生広場
・バスケットゴール（2基） ・ベンチ類（7基）

(2) 特徴

- ・以前、線路が通っていたことを思わせるように中古レールを設置
- ・ウッドデッキなどの木材には大分市産材及び大分県産材を使用
- ・南蛮BVNGO交流館付近に大友庭園が見渡せる眺望デッキを設置
- ・バスケットコート（3×3用）2面とゴールを2基設置

2. 「線路敷ボードウォーク広場竣工式典」及び「第8回みんなの森づくり市民植樹祭」

日時	12月7日（土） 午前10時～11時30分
場所	線路敷ボードウォーク広場西側エントランス（六坊北町2843番3）
内容	主催者挨拶、来賓紹介、来賓祝辞、事業概要説明、サインボード除幕式、記念植樹（ヤマザクラなど約100本）
出席者 （予定）	大分県、大分中央地区自治委員、市議会議員、地元関係者、金池小学校児童、金池保育所園児及び保護者、設計委託業者、工事施工業者 等 約100名

【まちなみ整備課 内線1829】

【公園緑地課 内線1833】